

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社  
 コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 池田 康孝

TEL 06-6692-1131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,822	18.0	778	—	1,011	—	895	—
25年3月期第2四半期	15,108	△4.4	△51	—	△147	—	△335	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,329百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △663百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	68.74	—
25年3月期第2四半期	△25.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	37,124	19,855	53.4	1,520.65
25年3月期	36,452	18,657	51.1	1,428.69

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,812百万円 25年3月期 18,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創業90周年記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,750	14.9	2,050	129.4	2,320	88.7	1,420	97.3	108.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	13,030,000 株	25年3月期	13,030,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,021 株	25年3月期	940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,029,016 株	25年3月期2Q	13,029,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、先進諸国で景気の回復傾向が続きましたが、新興国では経済成長が停滞する傾向が見られました。米国では、設備投資に慎重な姿勢が見られるものの、個人消費や住宅投資等の好調な内需に支えられて緩やかな回復になりました。弱含みで推移していた欧州でも、南欧諸国の景気悪化ペースが改善され、ドイツ、フランスの好調な経済に助けられて下げ止まりの兆しが見られました。中国をはじめ新興国経済は持ち直しの動きも見られましたが、回復ペースが鈍く停滞傾向が続きました。

一方、わが国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策の景気刺激策を背景に円高是正、株高、消費マインドの改善が進み、好況感への期待が高まっていますが、实体经济への影響は限定的なものにとどまっており、景気の先行きには注視が必要な状況が続いております。

当社グループをとりまく経済環境は、国内・海外における民間設備投資において緩やかな回復を続けました。また、当社の主要顧客である造船業界においては、新造船受注量は回復の兆しを見せておりますが、新造船竣工量は依然減少しており厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は178億22百万円と前年同期比18.0%の増収となりました。利益面では、営業利益は7億78百万円（前年同期は営業損失51百万円）、経常利益は10億11百万円（前年同期は経常損失1億47百万円）、四半期純利益は8億95百万円（前年同期は四半期純損失3億35百万円）となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が83億39百万円と前年同期比2.7%の増収、機器製品（低圧遮断器等）が94億83百万円と前年同期比35.7%の増収となりました。

当社グループのシステム製品の連結受注高は、前年同期を63.9%上回る101億78百万円となり、その結果、連結受注残高は前連結会計年度末より18億38百万円増加し178億38百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、前記受注高、受注残高には含めておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

## 「日本」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）では、LNG船やコンテナ船向け等の売上がありましたが、船舶需給バランスの崩れに起因する納期繰延要求や船価下落による当社製品の販売価格低下等の影響により売上が前年同期に比べ減少しました。

産業用システム製品（配電制御システム・電子応用製品等）では、医療用機器等の需給調整、海外プラント向けの納期繰延、電力需要に関連したコージェネレーションシステム等の分散型エネルギーシステム向けの需要が低調に推移したことにより、売上が前年同期に比べて減少しました。

この結果、システム製品全体の受注は好調さを取り戻しつつあるものの、売上は前年同期に比べ減収となりました。

機器製品（低圧遮断器等）では、国内向けでは太陽光発電等の新エネルギー分野における需要が好調に推移し、海外向けでは東南アジア市場及びOEM販売先向け等の需要が好調に推移したことに加えて、円高是正が持続したことにより売上を大きく伸ばすことができました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は107億17百万円と前年同期比5.8%の増収、セグメント利益は5億3百万円と前年同期比189.2%の増益となりました。

## 「アジア」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）では、一部造船所における建造船の組み替え及び船価下落による当社製品の販売価格低下の影響が続いているものの、納期繰延となっていた製品等の出荷があり、その結果、売上は前年同期に比べ増加しました。

機器製品（低圧遮断器等）では、シンガポールにおける鉄道関連施設向けやマレーシア国内向け及びOEM販売先向けの需要が堅調に推移したこと等により、売上は前年同期に比べ増加しました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は52億13百万円と前年同期比52.5%の増収、セグメント利益は6億54百万円と前年同期比530.8%の増益となりました。

## 「ヨーロッパ」

機器製品（低圧遮断器等）では、ヨーロッパ地域の一部において売上が減少しましたが、英国内や北欧地域及びサウジアラビア等の中近東方面の需要が好調に推移し売上が増加しました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は18億46百万円と前年同期比21.8%の増収、セグメント利益は77百万円と前年同期比87.8%の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、受取手形及び売掛金が前期末比4億78百万円並びにたな卸資産が前期末比2億13百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産は前期末比9億19百万円増の276億82百万円となりました。固定資産では、投資有価証券が前期末比2億76百万円増加した一方、無形固定資産が前期末比2億2百万円及び有形固定資産が前期末比1億22百万円並びに繰延税金資産が前期末比85百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比2億47百万円減の94億41百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比6億72百万円増の371億24百万円となりました。

負債の部では、未払費用が前期末比2億56百万円増加した一方、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が前期末比2億74百万円並びに支払手形及び買掛金が前期末比1億48百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比1億87百万円減の131億18百万円となりました。固定負債では、長期借入金の前期末比2億2百万円減少したこと等により、前期末比3億38百万円減の41億50百万円となり、この結果、負債合計は前期末比5億25百万円減の172億68百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益8億95百万円の計上等により利益剰余金が前期末比7億65百万円並びに為替換算調整勘定が前期末比2億69百万円それぞれ増加したこと等により、純資産合計は前期末比11億98百万円増の198億55百万円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には70億46百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億61百万円（前年同期は6億30百万円の収入）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益10億13百万円及び減価償却費の計上5億69百万円並びにその他の負債の増加による収入4億54百万円、仕入債務の減少による支出4億47百万円及び売上債権の増加による支出3億58百万円並びに法人税等の支払による支出3億67百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億26百万円（前年同期は2億71百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1億93百万円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億13百万円（前年同期は3億78百万円の支出）となりました。これは、主に短期及び長期借入金の返済による支出4億73百万円並びに配当金の支払いによる支出1億30百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の推移並びに当社グループを取り巻く市場環境から、平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、平成25年11月7日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,958,992	7,029,161
受取手形及び売掛金	11,312,748	11,791,512
有価証券	10,619	25,036
商品及び製品	3,646,664	3,730,308
仕掛品	2,215,881	2,414,462
原材料及び貯蔵品	1,660,357	1,591,738
繰延税金資産	595,629	757,403
その他	447,962	403,986
貸倒引当金	△85,392	△60,756
流動資産合計	26,763,464	27,682,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,994,532	5,032,748
減価償却累計額	△3,261,516	△3,323,858
建物及び構築物(純額)	1,733,015	1,708,890
機械装置及び運搬具	5,037,434	5,065,567
減価償却累計額	△4,141,176	△4,242,924
機械装置及び運搬具(純額)	896,258	822,642
工具、器具及び備品	6,489,144	6,614,561
減価償却累計額	△6,068,055	△6,188,518
工具、器具及び備品(純額)	421,088	426,043
土地	3,141,325	3,141,783
リース資産	48,701	53,341
減価償却累計額	△29,755	△36,874
リース資産(純額)	18,946	16,466
建設仮勘定	87,266	59,436
有形固定資産合計	6,297,900	6,175,263
無形固定資産		
その他	1,418,207	1,216,119
無形固定資産合計	1,418,207	1,216,119
投資その他の資産		
投資有価証券	447,594	724,478
繰延税金資産	245,495	160,000
その他	1,429,314	1,306,681
貸倒引当金	△149,710	△141,073
投資その他の資産合計	1,972,693	2,050,087
固定資産合計	9,688,801	9,441,469
資産合計	36,452,265	37,124,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,506,086	6,357,773
短期借入金	1,410,315	1,281,334
1年内返済予定の長期借入金	1,023,776	878,084
未払法人税等	344,084	295,946
製品保証引当金	146,292	97,019
未払費用	1,831,008	2,087,330
その他	2,043,776	2,120,698
流動負債合計	13,305,338	13,118,186
固定負債		
長期借入金	1,934,354	1,731,692
退職給付引当金	2,269,290	2,126,888
役員退職慰労引当金	194,788	194,658
その他	90,614	96,981
固定負債合計	4,489,047	4,150,220
負債合計	17,794,386	17,268,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	15,354,978	16,120,308
自己株式	△1,390	△1,433
株主資本合計	18,834,877	19,600,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,724	288,649
為替換算調整勘定	△346,044	△76,300
その他の包括利益累計額合計	△220,320	212,349
少数株主持分	43,322	43,401
純資産合計	18,657,879	19,855,916
負債純資産合計	36,452,265	37,124,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	15,108,861	17,822,824
売上原価	11,767,498	13,194,261
売上総利益	3,341,362	4,628,563
販売費及び一般管理費	3,393,100	3,849,777
営業利益又は営業損失(△)	△51,737	778,785
営業外収益		
受取利息	28,435	20,332
受取配当金	8,822	10,549
為替差益	—	159,326
その他	27,072	93,124
営業外収益合計	64,329	283,333
営業外費用		
支払利息	39,503	36,259
投資有価証券評価損	59,692	—
為替差損	39,674	—
その他	20,949	14,643
営業外費用合計	159,820	50,902
経常利益又は経常損失(△)	△147,227	1,011,216
特別利益		
固定資産売却益	1,729	2,877
特別利益合計	1,729	2,877
特別損失		
固定資産売却損	118	191
固定資産除却損	187	594
特別損失合計	305	786
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△145,803	1,013,307
法人税、住民税及び事業税	124,771	284,297
法人税等調整額	62,460	△168,190
法人税等合計	187,232	116,107
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△333,035	897,200
少数株主利益	2,814	1,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△335,850	895,620



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△333,035	897,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,583	162,925
為替換算調整勘定	△309,544	269,744
その他の包括利益合計	△330,128	432,670
四半期包括利益	△663,164	1,329,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△665,978	1,328,291
少数株主に係る四半期包括利益	2,814	1,579

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△145,803	1,013,307
減価償却費	474,807	569,146
引当金の増減額(△は減少)	△181,571	△42,202
受取利息及び受取配当金	△37,257	△30,882
支払利息	39,503	36,259
売上債権の増減額(△は増加)	776,199	△358,072
たな卸資産の増減額(△は増加)	160,903	△128,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△410,857	△447,191
その他の資産の増減額(△は増加)	150,225	68,391
その他の負債の増減額(△は減少)	△58,902	454,604
その他	90,757	△3,033
小計	858,003	1,131,954
利息及び配当金の受取額	37,956	33,221
利息の支払額	△39,198	△36,073
法人税等の支払額	△226,468	△367,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	630,292	761,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	125,500	—
投資有価証券の取得による支出	△713	△21,438
有形固定資産の取得による支出	△306,298	△193,038
有形固定資産の売却による収入	815	2,642
その他の収入	1,006	757
その他の支出	△92,049	△15,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271,739	△226,518
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,497,330	1,387,234
短期借入金の返済による支出	△2,454,048	△1,512,714
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△385,388	△348,354
自己株式の取得による支出	—	△43
配当金の支払額	△130,290	△130,290
その他	△6,394	△9,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,791	△613,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	△164,868	163,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△185,106	84,692
現金及び現金同等物の期首残高	6,059,110	6,962,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,874,003	7,046,753

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,129,427	3,419,637	1,516,304	15,065,370	43,491	15,108,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,716,722	1,238,849	10,798	2,966,370	—	2,966,370
計	11,846,149	4,658,487	1,527,103	18,031,740	43,491	18,075,231
セグメント利益又は損失(△)	174,122	103,787	41,313	319,222	△22,534	296,688

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	319,222
「その他」の区分の損失(△)	△22,534
セグメント間取引消去	11,786
全社費用(注)	△360,211
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△51,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,717,663	5,213,607	1,846,153	17,777,424	45,399	17,822,824
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,068,487	1,977,419	24,064	4,069,971	—	4,069,971
計	12,786,151	7,191,027	1,870,217	21,847,396	45,399	21,892,795
セグメント利益又は損失(△)	503,592	654,728	77,589	1,235,910	△22,777	1,213,132

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,235,910
「その他」の区分の損失(△)	△22,777
セグメント間取引消去	△44,037
全社費用(注)	△390,309
四半期連結損益計算書の営業利益	778,785

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。